

歴女がゆく

私が出逢ったディープな中世



天野山金剛寺と天野谷 前編 戦乱を生き抜いた伽藍

金剛寺は、何度も合戦に巻き込まれながらも中世の文化財を今に伝えてきました。



Deep!

ココが中世!

金剛寺は南北朝時代に何度も合戦に巻き込まれていますが、金堂や多宝塔、食堂のある中心伽藍は奇跡的に被害を免れます。そのため、中世のすがたをそのまま残す貴重な景観を形作っています。



後村上天皇がお月見を楽しんだといわれる観月亭
どんな月を見ていたのかな

金剛寺は前回掲載した観心寺と同じく、中世におおいに栄えたお寺として有名です。今から約1300年前に建立されたといわれ、約900年前には現在の境内に近い形であったようです。

今から約700年前、当時の天皇の系統が南朝と北朝に分かれ、武士も巻き込んだ争いが起こりました。金剛寺は南朝方の勢力圏に属していたことから、後村上天皇の住居となった時期もありました。このため、土地の寄付をはじめとする手厚い保護を受けました。一方で南朝の拠点であったことから敵である北朝に狙われやすく、何度も攻撃に遭うなどの難点もありました。

しかし、北朝方の攻撃は境内の一部に集中したため、金堂や多宝塔など多くの建造物は被害を免れました。これらの文化財は、戦乱を生き抜いた金剛寺の歴史を語る証人といえるでしょう。

今回の歴女

北村 安里紗さん

河内長野市に引っ越して2年が経ち、金剛寺へは2度目の参拝。都会にはない澄んだ空気を吸い、自然と背筋が伸びる思いでした。今回は国宝指定されているご本尊も拝見し、中世から続く歴史を感じることができました。



河内長野駅からバスに乗車、「天野山」下車
入山料：大人 200 円、小学生 100 円
午前 9 時～午後 4 時 30 分

中世トリビア③ 天野酒

中世の金剛寺では酒造りがさかんて、寺の重要な収入源でした。天野酒は將軍をはじめ、身分の高い人々への贈答品として人気で、信長や秀吉にも愛されました。戦国時代、周辺寺院が信長らに焼き討ちされるなかでも、金剛寺が無事だった理由のひとつに、天野酒の存在があるといわれています。



酒造用とみられる大甕